

**【第11分科会】 社会形成能力**  
**研究課題 社会形成能力を育む教育活動の推進**

## 1 分科会の趣旨

### 【研究課題の背景・現状】

- ◇教育活動全体においてキャリア教育の視点を重視することが大切である。
- ◇子どもたち一人一人に、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力や態度を育むことができるような教育課程を編成し、カリキュラム・マネジメントを実現する必要がある。

### 【研究課題解決の方向性】

- ◇学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力や態度を育成するための具体的方策を明らかにする。

過去6大会の成果と  
前年度の課題

背景・現状を踏まえて、具体的方策と成果を明らかにする

## 2 研究の視点

- (1) 社会の発展に貢献する資質・能力や態度を育む教育活動の推進
  - ・身近な地域を対象として、地域の人的・物的資源を活用し、体験的な学習や問題解決的な学習を積極的に取り入れる。
  - ・日常の学習指導において、「主体的・対話的で深い学び」を実現し、「どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか」という「学びに向かう力、人間性等」を育む。
- (2) 地域に愛着をもち、よりよい社会の創造に貢献する力を育むキャリア教育の推進
  - ・学校が育成を目指す資質・能力や態度を地域全体で共有する。
  - ・子どもの社会的・職業的自立に向けた基盤を作っていくことができるよう、地域との連携・協働を進める。

## 3 「校長の果たすべき役割と指導性を究明する」ための協議の柱

- ① 社会の発展に貢献する資質・能力や態度を育む教育活動をどのように推進するか。
- ② 地域に愛着をもち、よりよい社会の創造に貢献する力を育むキャリア教育をどのように推進するか。

第11分科会 「社会形成能力」社会形成能力を育む教育活動の推進

【視点①】 社会の発展に貢献する資質・能力や態度を育む教育活動の推進

「社会形成能力を育む教育活動の推進における校長の役割と指導性  
～『社会形成能力の育成に関わる経営シート』を活用した経営ビジョンの構築～」

北海道 寿都町立潮路小学校 校長 前田 敦子

1 趣 旨

『社会形成能力を育む教育活動の活性化』を図るためには、校長自らが、社会形成能力を明確にとらえ、自校の教育課題と照らし合わせながら、具体的に経営ビジョンに反映させることによって、社会形成能力を育む教育活動の推進が確かなものになると考える。

2 研究の概要

後志小中学校長会小学校研究プロジェクトでは、校長が「社会形成能力の育成に関わる経営シート」を作成することによって、『社会形成能力を育む教育活動の推進構想』を、校長自身がより明確化できるのではないかと考え、以下のような内容で仮説検証型の方法で共同研究に取り組んだ。

- (1) 調査 ～後志の実態把握Ⅰ及び研究仮説の設定、研究の全体像の整理・理解
- (2) 実践 ～「社会形成能力の育成に関わる経営シート」の作成と経営ビジョンの構築
- (3) 分析 ～経営シートとその活用に関する実態把握Ⅱと経営シート活用方法の改善

<メモ>

【発表内容に関すること】

【自己の実践等に関すること】

○有効な取組

○疑問・改善

◇「校長の役割と指導性」について、協議内容を簡潔にまとめると…【キーワードかキーセンテンスで】

☆参考キーワード

地域連携  
他者理解

コミュニケーション能力  
体験活動

文化継承  
カリキュラム・マネジメント

社会参画

【視点②】 地域に愛着をもち、よりよい社会の創造に貢献する力を育むキャリア教育の推進

「未来への夢や志を育むキャリア教育の推進における校長の役割  
～小・中のつながりを意識した取組を目指して～」

岩手県 雫石町立御明神小学校 校長 高橋 正好

1 趣 旨

平成20年度に町教育委員会から、キャリア教育ポートフォリオの活用が示されたが、その活用開始から10年の時を経た今、活用の意図や方法について共通理解が図られずにいるという課題が浮き彫りになった。今回の学習指導要領の改訂により、キャリア教育においてポートフォリオ的な教材の活用について、中学校区内の小学校・中学校において継続した取組が可能となるよう教材などの工夫や活用方法の共有について示された。これらのことから、中学校へのつながりを意識した小学校段階におけるキャリア教育の推進に校長が果たすべき役割を追究するものである。

2 研究の概要

- (1) 各校におけるキャリア教育の取組状況の把握・分析と課題の整理
- (2) 中学校区キャリア教育全体計画の作成と各校のキャリア教育全体計画・年間指導計画の見直し
- (3) キャリア教育ポートフォリオの作成と活用実践

以上のような内容で、研究を推進してきた。10校あった小学校が5校に半減し、1つの中学校に全児童が進学することを踏まえ、町内教職員が共通理解のもとにキャリア教育を推進していくため、校長が果たすべき役割について、実態調査や理論研修、各種計画の作成、町教育員会や県教育委員会との連携など、具体例とともに発表するものである。

<メモ>

【発表内容に関すること】

【自己の実践等に関すること】

○有効な取組

○疑問・改善

◇「校長の役割と指導性」について、協議内容を簡潔にまとめると…【キーワードかキーセンテンスで】

☆参考キーワード

地域・家庭連携  
自己肯定感

小中高一貫  
キャリア教育

体験活動  
働く意義

地域貢献  
職業的自立

過去6大会の成果と前年度の課題

領域V 教育課題 第11分科会 社会形成能力

<p>25 三重 大会</p>	<p>研究課題 社会形成能力の育成を目指す教育課程                  視点1 社会に貢献する力の育成を目指す教育活動の創造                  視点2 自立した社会人を育成するための教育課程の編成・実施・評価・改善  <input type="checkbox"/> 地域の特色を生かした体験活動に取り組む際には、計画性やつながりの視点をもち、若手教員の育成を図っていくことが重要である。  <input type="checkbox"/> 地域からの要請による活動や新しく取り組む活動に意欲的に取り組んでいる学校が多い。発達段階や年齢に応じた関わりをもたせるような教育課程の工夫改善が必要である。</p>	
<p>26 埼玉 大会</p>	<p>研究課題 社会形成能力を育む教育の推進                  視点1 社会に貢献する資質能力・態度の育成を目指す教育活動の創造                  視点2 豊かな未来の実現に貢献する力を育むキャリア教育の推進  <input type="checkbox"/> 指導計画や学習方法の改善などを学校全体で取り組み、校務分掌や立場を考慮した指導・支援、校長自ら大局的な視野をもち学校の方向性を示すことが重要となる。  <input type="checkbox"/> 地教委との連携を図りながら、教職員に改善点・向上点を示していくとともに、関係団体・施設との信頼関係の醸成、校長自ら保護者、PTA への働きかけ等に取り組むことが重要となる。</p>	
<p>27 山口 大会</p>	<p>研究課題 社会形成能力を育む教育の推進                  視点1 社会の発展に貢献しようとする資質・能力・態度を育む教育の推進                  視点2 自立と協働の心を育むキャリア教育の推進  <input type="checkbox"/> 校長がまず地域と密接につながり、学校と地域を結びつけながら、有効な体験活動となるようコーディネートしていくことが必要である。  <input type="checkbox"/> 地域の特色を生かした体験活動は、アクティブ・ラーニングにつながり、21世紀型能力の育成に結びつく。</p>	
<p>28 高知 大会</p>	<p>研究課題 絆を結び社会形成能力を育む教育の推進                  視点1 社会の発展に貢献する資質・能力・態度を育む教育活動の推進                  視点2 地域の担い手として、豊かな未来社会の実現に貢献する力を育むキャリア教育の推進  <input type="checkbox"/> 社会形成能力育成するためには、校長は、現状認識をしっかりと行い様々なことを複合的に考え、目標や育てたい力を自分たちの言葉で明確に理解させることが大切である。  <input type="checkbox"/> キャリア教育を推進する上で、熱い思い、強い信念で学校を変えていくことの大切さを教職員に提案し、チーム学校として取り組むことが必要である。</p>	
<p>29 佐賀 大会</p>	<p>研究課題 社会形成能力を育む教育の推進                  視点1 社会の発展に貢献する資質・能力・態度を育む教育活動の推進                  視点2 地域を誇りに思い、豊かな未来社会の実現に貢献する力を育むキャリア教育の推進  <input type="checkbox"/> 地域の方々の思いや願いを教育に反映し、成果を子どものよさとして地域に発信することにより、子どもが「地域の一員である」・「将来、地域のために役立ちたい」という意識を高めることができた。  <input type="checkbox"/> 異年齢集団活動により自己有用感や自己肯定感をもつ子どもが育ってきている。  <input type="checkbox"/> 日々の教育活動の中で子どもたち相互のつながりを大切にすること、異年齢集団活動や地域や外部とのつながりを大切にすること、自主的な学び合いの授業づくりに心がけることにより子どもたちが夢や希望をもって生きていくという自立心が育ってきている。</p>	
<p>30 北海道 大会</p>	<p>研究課題 社会形成能力を育む教育活動の推進と校長の在り方                  視点1 社会の発展に貢献する資質・能力・態度を育む教育活動の推進                  視点2 身の回りの仕事や環境に関心をもち、目標に向かって努力する態度を育成するキャリア教育の推進</p> <p style="text-align: center;">成 果</p> <p><input type="checkbox"/> 社会の発展に貢献する資質・能力・態度を育む教育活動の推進に関わり、地域連携を推し進める校長の指導性が大切であることを確認できた。  <input type="checkbox"/> 身の回りの仕事や環境に関心をもち、目標に向かって努力する態度を育成するキャリア教育を力強く推進し、充実を図るには校長のリーダーシップが欠かせないことが確認できた。</p>	<p style="text-align: center;">課 題</p> <p>■ 将来の生活や社会と関連付けながら主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めること。                  ■ 「社会に開かれた教育課程」の理念の下、校長が中心となり組織体の学校として地域住民などと目標やビジョンを共有すること。                  ■ キャリア教育推進のための人材育成を進めること。</p>

(各大会の集録より一部引用)